

報道関係者各位

株式会社ミマキエンジニアリング
(コード番号：6638 東証プライム)

「Next Standard」
幅広いグラフィックを1台で制作する
ハイブリッドUVプリンタ「UJ330H-160」を発表

UJ330H-160



* 写真の搬送台は別売です。

株式会社ミマキエンジニアリング（本社／長野県東御市、代表取締役社長／池田 和明）は、グラフィック制作用の大判インクジェットプリンタ「330シリーズ」の新製品として、ハイブリッドUVインクジェットプリンタ「UJ330H-160」を発表いたします。

当社のフラグシップラインである「330シリーズ」は、その高画質と高生産性により、お客様のビジネスの拡大に貢献し、世界中の制作現場から高い評価をいただけてきました。

卓越した高画質・高生産性をさらに多くのお客様にご利用いただくため、このたびUJ330H-160を開発しました。本製品はロール素材への出力に加え、リジッド（ボード）素材のダイレクトプリントにも対応します。スペースの制限や高額な設備投資を抑えながら、ロール・リジッドの出力を1台で実現するハイブリッドUVプリンタを、新たな標準「Next Standard」として、サイン制作事業者や印刷会社をはじめとするグラフィック制作現場に提案します。

本製品は、ロールとリジッド出力の切替えを迅速かつ簡単に行える設計により、制作現場の作業効率を高めます。用途ごとに設備を使い分けることなく、限られた人員やスペースでも多様な素材・用途に柔軟に対応できます。

さまざまなロール素材への安定した出力を実現するため、本製品には当社が新たに開発したベルト搬送システム（図1）を採用しました。従来のグリットローラーによる搬送方式では対応が難しかった薄手のフィルムや布地も、弛みやシワの発生を抑えながら安定して搬送することが可能です（図2）。これにより、ウィンドウグラフィックやファブリックサインなど用途を広げ、展示会ブースや店舗空間のグラフィックを一括して提案できます。

さらにこの搬送システムは、リジッド素材の出力時にも高い安定性を発揮します。オートバキュームと前後のロックローラーユニット（図3）により、最大 4x8 サイズ*1 のアルミ複合板や、2 インチ厚のカルプ板といった大判・厚物素材も安定して搬送（図4）。これまで貼付け工程や外注に依存していたリジッド制作を、自社内で効率化し完結する生産体制へと変えていきます。

*1 約 1.2m x 2.4m 看板材料の標準サイズのひとつ

図1 新開発のベルト搬送システム



図2 薄手フィルムの搬送の様子（左）・ウィンドウグラフィックの用途（右）

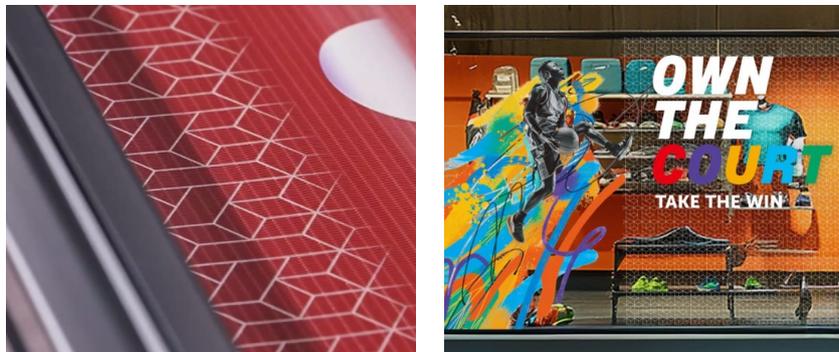


図3 ベルト搬送システム前後に搭載したロックローラーユニット
パワーロックローラー（左）・リアロックローラー（右）

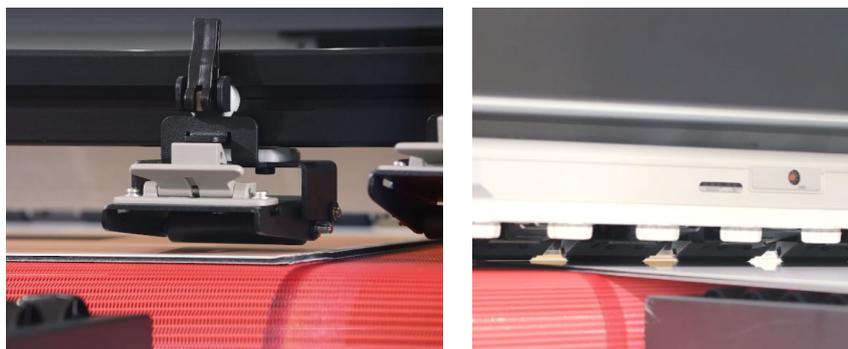


図4 4x8 サイズのアルミ複合板への出力の様子



画質面では、高密度・高精細プリントヘッドと独自の画質コントロール技術を融合したプリントエンジンを搭載し、業界トップクラスの高画質を提供します。均一なベタから滑らかで繊細なグラデーションまでを、実用スループット 14.0 m²/h²の高い生産性で忠実に再現し、見る人の印象に残るグラフィック制作を可能にします。

*2 CMYK+白+クリアまたは CMYK LcLm+白インクセット使用時

また、この高画質を特別なスキルに依存せず安定して再現できるよう、自動調整機能を進化させました。簡単な操作で常に最適な状態を維持できるため、オペレーターの経験差を問わず、高い生産効率と一貫した品質を実現します。

あわせて、本製品に使用される UV インクは、SVHC^{*3} および CMR^{*4} フリーに対応した設計とし、業界をリードする安全性を確保。より安心できる作業環境づくりに貢献するとともに、グローバルな環境規制への対応も見据えています。

*3 欧州の REACH 規制で定められる、特に人の健康や環境に重大な影響を与える恐れのある懸念物質

*4 がん原性物質、変異原性物質、生殖毒性物質の頭文字を取った略語

さらに、UV プリントならではの多層印刷や厚盛表現 (図5, 6)、クリアインク的光沢・マット (図7) の付加価値の高い印刷を一貫してコントロールできる RIP ソフト「RasterLink7」と、出力状況を可視化するクラウド型モニターツール「PICT」との連携により、出力から管理までを包括的にサポートします。制作現場の運用をよりシンプルかつ効率的にし、お客様の生産環境の構築を支援します。

図5 多層印刷の活用例 (5層印刷)

一枚のサインで室内外異なる訴求が可能



図6 厚盛印刷の活用例

布目・ファスナーなどのテクスチャ表現が可能

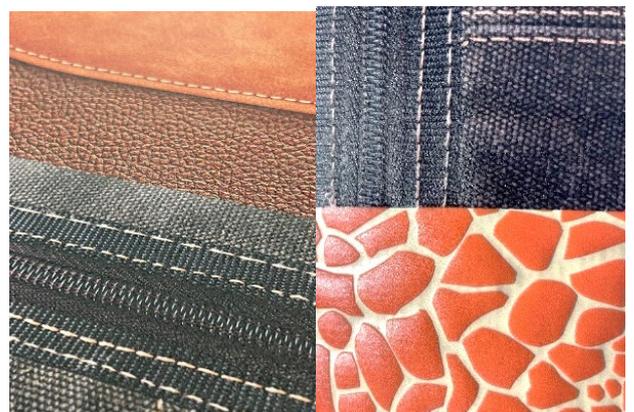


図7 グロス調（左）・マット調（右）表現の例



ハイブリッド UV インクジェットプリンタ「UJ330H-160」は、2026年4月の販売開始を予定しています。本体価格は520万円（税別）で全世界で年間400台の販売を見込んでいます。

本製品は、3月3日より東京ビッグサイトで開催される「JAPAN SHOP 店舗総合見本市」をはじめ、各国の主要展示会にて公開予定です。

展示会名	国・都市	開催日	場所
JAPAN SHOP 2026 店舗総合見本市	日本・東京	3月3日～6日	東京ビッグサイト 西ホール
APPP EXPO 2026	中国・上海	3月4日～7日	National Exhibition and Convention Center
ISA International Sign Expo 2026	アメリカ・オーランド	4月8日～10日	Orange County Convention Center
FESPA Global Print Expo 2026	スペイン・バルセロナ	5月19日～22日	Fira Barcelona Gran Via

ミマキエンジニアリングでは、『新しさと違い』を経営ビジョンに掲げ、常に新たな技術革新を目指し、お客様が求める「Next Standard」の提案を続けてまいります。

◎主な仕様

項目		UJ330H-160
プリントヘッド		オンデマンドピエゾヘッド
プリント分解能		Y : 600、1,200 dpi, X : 600、900、1,200、1,800 dpi
インク	種類/色	ELS-170/ELS-175 ^{*5} : C, M, Y, K, Lc, Lm, W, CL(クリア) LUS-210 ^{*5} : C, M, Y, K, W
	容量	1L ボトル
最大作図範囲		1,610mm
メディア (ロール)	最大幅	1,620mm
	外径	250mm 以下
	重量	45kg 以下
メディア (リジッド)	セット可能メディア長	280mm ~ 2,500mm
	厚さ	50.8mm 以下
	重量	25kg 以下 (7kg/m ² 以下)
インターフェイス		Ethernet 1000 BASE-T (推奨), USB2.0 Hi-Speed

電源仕様	単相 AC100-120V±10% / 8A、200-240V±10% / 4A 50/60±1Hz×2
消費電力	800W×2 (最大)、Inlet1 400W / Inlet2 500W (平均動作時)、 4.5W 以下×2 (スリープ時)
適合規格	IEC 62368-1 準拠 ETL CB、CE (EMC 指令、低電圧指令、機械指令、RoHS 指令) REACH、VCCI クラス A、FCC クラス A KC、RCM、EAC、UKCA、EnergyStar
外形寸法 (W×D×H)	本体：3,225mm×785mm×1,420mm 本体+搬送台 1 セット：3,225mm×2,664mm×1,420mm 本体+搬送台 2 セット：3,225mm×4,712mm×1,420mm
本体重量	386kg

※記載の仕様、デザイン、寸法などは、技術改善等により予告なく変更する場合があります

*5 ELS-175、LUS-210 は特定の国・地域で販売されるインクです。

株式会社ミマキエンジニアリングについて

ミマキエンジニアリングは、産業用インクジェットプリンタ、カッティングプロッタ、3D プリンタおよびそのインク、ソフトウェアの開発・製造・販売・保守を行っています。サイングラフィックス、インダストリアルプロダクツ、テキスタイル・アパレルの市場に向け、プリント工程のトータルソリューションを提供することにより、お客様に常に「新しさと違い」をお届けするイノベーターを目指しています。

企業・IR サイト：<https://ir.mimaki.com/>

製品サイト：<https://japan.mimaki.com/>

お問い合わせ先

◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング

営業本部グローバルマーケティング部

インサイドセールスグループ

長野県東御市滋野乙 1628 - 1

TEL：0268-80-0078 / FAX：0268-80-0041

MAIL: press@mimaki.com

◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームより

お問い合わせください。

<https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/>